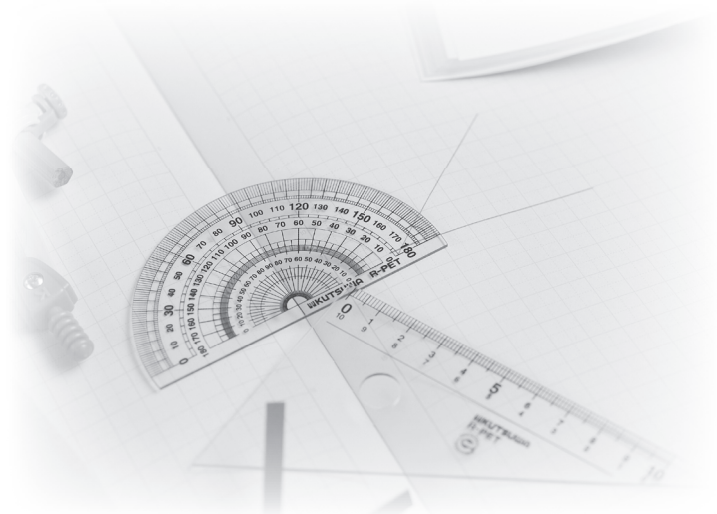


平成29年度 皇學館大学

# 教員免許状更新講習 実施要項



## 開講日程

伊勢会場	(皇學館大学)
	平成29年8月17日(木)~21日(月)
.....	
四日市会場	(じばさん三重)
	平成29年8月17日(木)~22日(火) ※20日(日)除く

### 申込期間

第一次：平成29年6月1日(木)~3日(土)  
第二次：平成29年6月7日(水)~9日(金)

■ 申込み・お問合せ先は、表紙4面をご覧ください。

# 教員免許状更新講習開設にあたり

皇學館大学 学長 清 水 潔

私共皇學館大学は明治15年4月、時の神宮祭主久邇宮朝彦親王の令達によって、江戸時代より続く伊勢神宮の学問所である林崎文庫に創設された「神宮皇學館」を発祥としています。その後、明治36年に官制が公布され、昭和15年には官立大学への昇格を果たしました。終戦後GHQが発したいわゆる神道指令により、昭和21年、廃学の憂き目にあい、その後、母校再興を悲願とする卒業生の熱意と吉田茂元首相ら有職者の理解と後援を得て、昭和37年に文学部国文・国史の2学科からなる私立大学として再興されました。その後は、文学部に教育学科、神道学科、コミュニケーション学科を、また社会福祉学部社会福祉学科を増設したのをはじめ、大学院、神道学専攻科、附属高等学校・中学校を設置し、平成20年度には文学部教育学科を改組して、教育学部教育学科を開設し、平成22年度からは、社会福祉学部を改組して、現代日本社会学部を新設しました。

平成24年には創立130周年・再興50周年を迎え、周年記念事業により、教育研究環境は格段に拡充整備され、キャンパスは面目を新たにしました。平成26年度からは、自治体や地元の企業、研究機関等と連携し、地域の将来を担うという高い志と知性と情熱を持ち、確かな実行力を備えた人材の育成を目指す、『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムをスタートさせました。また、異文化理解に努めるとともに、我が国の言語、文化、歴史、伝統を理解し、自ら考え、日本語で正しく表現し、外国語で発信する能力を高める真のグローバル教育にも取り組んでいます。

さて、本学は昭和37年に新制大学として再興以来、約25,000名の卒業生のうち、約5,400名を教員として送り出し、教員免許課程認定校として教育界に大きな役割を果たしてきました。平成29年度も、課程認定校としての責任を果たすため、教員免許状更新講習を開設することといたしました。

開設にあたりましては、私から更新講習の基本方針として、まず「伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育等を推進する」としている改正後の教育基本法の理念に沿った講習にすること。そして、皇學館大学の建学の精神、即ち「日本人としての自覚を確立した人材を育成する」という目標のもとに、社会各分野のリーダーとして貢献できる人材を育成すること等、皇學館大学の教育目的に沿ったものであること。この2点に留意して、計画、推進するように関係の教職員をお願いいたしました。

更新講習の内容については、質の高い水準と実践的な内容が求められていることから、先に述べた2つの基本方針のもと、最新の教育事情を踏まえ、直面している教育課題や、地域の特性に配慮した内容も取り入れるとともに、次期学習指導要領改訂の方針を踏まえた新たな教育課題についても視野に入れた講習となるよう工夫もいたしました。講師については、本学の教員の他に、外部から著名講師をお願いし、特に近年の教育課題とされている事柄について講義をお願いした次第であります。

受講対象の先生方には、お盆明けの暑い時期ではございますが、是非皇學館大学の更新講習を受講され、意義深く実りのある講習としていただければと願っています。

## 1、講習開設趣旨

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月から教員免許更新制が導入されました。

そのため、平成21年4月1日以降に授与される教員免許状の有効期限は10年となるとともに、平成21年3月31日以前の免許状取得者にも更新制の基本的枠組みが適用されることになりました。教員免許状を更新するには、修了確認期限満了前の2年間に30時間以上の更新講習を受講し修了認定を受ける必要があります。これは、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、最新の知識技能を身に付けることを目指すものです。

皇學館大学は教員免許課程認定大学としての使命を果たすために、文部科学大臣の認定を受けて法の趣旨に沿った内容の講習を開設し、受講者に対し定められた評価基準に基づき修了認定を行い、教員免許状更新申請に必要な「修了（履修）証明書」を発行します。

## 2、受講対象者について

平成30年及び31年3月31日に修了確認期限（下記＜表I＞を参照）を迎える現職教員等（30時間のうち、必修領域6時間及び選択必修領域6時間は全教員、選択領域18時間は養護教員・栄養教員を除く全教員）の方が対象となります。

＜表I＞

平成30年・31年3月31日現在の年齢	生 年 月 日
満35・34歳	昭和57年4月2日～昭和59年4月1日
満45・44歳	昭和47年4月2日～昭和49年4月1日
満55・54歳	昭和37年4月2日～昭和39年4月1日

※文部科学省 HP [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/003/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index.htm) にて確認できます。

## 3、受講対象者証明について

講習を受講する際には校長等所属長による受講対象者であることの証明が必要です。

「平成29年度 皇學館大学教員免許状更新講習受講申請書」（様式1 P.9）の「証明者記入欄」に証明を受けるか、証明書(様式自由)を添付してください。

### ◆受講対象者証明の方法

	受講対象者の区分	証明の方法
教育職員・教育の職	主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師	勤務校の校長の証明 ※校長本人の場合は下記のとおり 公立学校：都道府県教育委員会又は区市町村教育委員会等 国立・私立学校：法人等の長
	校長（園長）、副校長（副園長）、教頭、実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員	任命権者の証明
	指導主事、社会教育主事その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する専門的事項の指導等に関する事務に従事している者	任命権者の証明
	国・地方公共団体の職員等で、上記の者に準ずる者として免許管理者が定める者	任命権者の証明又は雇用者の証明
	その他文部科学大臣が定める者	任命権者の証明又は雇用者の証明
教員採用内定者・準ずる者	教員採用内定者	任用又は雇用予定の者の証明
	教員勤務経験者	任用又は雇用していた者の証明
	認定こども園及び認可保育所の保育士	当該施設の長の証明
	幼稚園と同一の設置者が設置する認可外保育施設の保育士	当該施設の設置者の証明
	教員となることが見込まれる者（臨時任用リスト登載者等）	任用又は雇用する可能性がある者の証明

#### 4、講習内容等について

伊勢会場 (皇學館大学) 5日間 30時間 開講日程 8月17日(木)～21日(月)

講習名：教育の最新事情 <必修領域 6 時間>

日 時	時間割	項 目	科 目	担当講師
8月17日(木)	9:00～12:10	国の教育施策や世界の教育の動向・教員としての子ども観、教育観等についての省察	国の教育施策・世界の教育の動向	市田 敏之
			子ども観、教育観等についての省察	
	13:10～16:20	子どもの変化についての理解	カウンセリングの技法を用いた子どもの理解と学級経営	渡邊 賢二

講習名：法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題、教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）、進路指導及びキャリア教育、英語教育

<選択必修領域 6 時間> ※ 4 講座から 1 講座を選択

日 時	時間割	項 目	科 目	担当講師
8月19日(土) A～Dコース から1コース を選択  ※会場の収容 定員により 第2希望に なる場合が あります。	9:00～12:10	Aコース： 法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題	法令改正及び国の審議会の状況	新田 均
	13:10～16:20		学校（園）における危機管理上の課題	大藪 康雄
	9:00～12:10 13:10～16:20	Bコース： 教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）	学級崩壊への対応／いじめへの対応	松藤 司
	9:00～12:10 13:10～16:20	Cコース： 進路指導及びキャリア教育	学校における進路指導とキャリア教育	近田 芳久
	9:00～12:10 13:10～16:20	Dコース： 英語教育	タスクに基づく英語教育：その理論と実践	中西 哲彦

講習名：伝統と文化の理解、道徳教育及び教科内容の充実 <選択領域 18 時間>

日 時	時間割	項 目	科 目	担当講師
8月18日(金)	9:00～12:10	道徳教育	道徳教育の課題	石井 昌浩
	13:10～16:20		アメリカの道徳教育	渡邊 毅
8月20日(日) A～Fコース から1コース を選択  ※会場の収容 定員により 第2希望に なる場合が あります。	9:00～12:10 13:10～16:20	Aコース： 教科内容の充実 (幼保)	保育における絵本の役割と活用方法について	小幡 章子
			幼児教育におけるピアノ伴奏	高橋摩衣子
	9:00～12:10 13:10～16:20	Bコース： 教科内容の充実 (小学校)	環境教育の教材開発	深草 正博
			体育授業の目的とその学習方法について	小木曾一之
	9:00～12:10 13:10～16:20	Cコース： 教科内容の充実 (国語)	国語教育におけるビブリオバトルの活用	岡野 裕行
	9:00～12:10 13:10～16:20	Dコース： 教科内容の充実 (社会・地理歴史)	環境教育における教材研究のあり方 －画像と映像からみた地球環境－	外山 秀一
	9:00～12:10 13:10～16:20	Eコース： 教科内容の充実 (ICT活用)	ICT活用と、プログラミングによる算数・ 数学教材作成	杉野 裕子
9:00～12:10 13:10～16:20	Fコース： 教科内容の充実 (理科教育)	理科教材としての昆虫の活用	中松 豊	
8月21日(月)	9:00～12:10 13:10～16:20	伝統と文化の理解	伝統の心と技 －芸道・建築・工芸・芸能等について－	岩崎 正彌

四日市会場

(じばさん三重)

5日間

30時間

開講日程 8月17日(木)～22日(火) ※20日(日)除く

講習名：教育の最新事情 &lt;必修領域6時間&gt;

日 時	時間割	項 目	科 目	担当講師
8月21日(月)	9:00～12:10	国の教育施策や世界の教育の動向・教員としての子ども観、教育観等についての省察	国の教育施策・世界の教育の動向 子ども観、教育観等についての省察	市田 敏之
	13:10～16:20	子どもの変化についての理解	カウンセリングの技法を用いた子どもの理解と学級経営	

講習名：法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題、教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）、進路指導及びキャリア教育、英語教育

&lt;選択必修領域6時間&gt; ※4講座から1講座を選択

日 時	時間割	項 目	科 目	担当講師
8月18日(金) A～Dコース から1コース を選択  ※会場の収容 定員により 第2希望に なる場合が あります。	9:00～12:10	Aコース： 法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題	法令改正及び国の審議会の状況	新田 均
	13:10～16:20		学校（園）における危機管理上の課題	大藪 康雄
	9:00～12:10 13:10～16:20	Bコース： 教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む。）	学級崩壊への対応／いじめへの対応	松藤 司
	9:00～12:10 13:10～16:20	Cコース： 進路指導及びキャリア教育	学校における進路指導とキャリア教育	近田 芳久
	9:00～12:10 13:10～16:20	Dコース： 英語教育	タスクに基づく英語教育：その理論と実践	中西 哲彦

講習名：伝統と文化の理解、道徳教育及び教科内容の充実 &lt;選択領域18時間&gt;

日 時	時間割	項 目	科 目	担当講師
8月17日(木)	9:00～12:10	道徳教育	道徳教育の課題	石井 昌浩
	13:10～16:20		アメリカの道徳教育	渡邊 毅
8月19日(土) A～Eコース から1コース を選択  ※会場の収容 定員により 第2希望に なる場合が あります。	9:00～12:10	Aコース： 教科内容の充実 (幼保)	保育における絵本の役割と活用方法について	小幡 章子
	13:10～16:20		幼児教育におけるピアノ伴奏	高橋摩衣子
	9:00～12:10	Bコース： 教科内容の充実 (小学校)	ことば教育の充実をめざして	中條 敦仁
	13:10～16:20		環境教育の教材開発	深草 正博
	9:00～12:10 13:10～16:20	Cコース： 教科内容の充実 (国語)	近代文学作品の分析と解釈 －その理論と実践－	小堀 洋平
	9:00～12:10 13:10～16:20	Dコース： 教科内容の充実 (社会・地理歴史)	日本史と世界史の架橋をめざして	谷口 裕信
9:00～12:10 13:10～16:20	Eコース： 教科内容の充実 (特別支援教育)	特別支援教育の授業づくり	山本 智子	
8月22日(火)	9:00～12:10 13:10～16:20	伝統と文化の理解	伝統の心と技 －芸道・建築・工芸・芸能等について－	岩崎 正彌

## 5、講習時間について

1日の講習開始は9時、終了は16時20分を基本形（下記時間割参照）としますが、講習科目等によっては、休憩など時間設定が異なる場合があります。また、場合によっては、終了時間が遅れることもあります。

教室に時計がない場合がありますので、各自で腕時計等持参ください。

8:55-9:00 事務連絡	9:00-10:30 講義等	休 憩	10:40-12:10 講義等	昼 休 憩	13:10-14:40 講義等	休 憩	14:50-16:20 講義等
-------------------	-------------------	--------	--------------------	-------------	--------------------	--------	--------------------

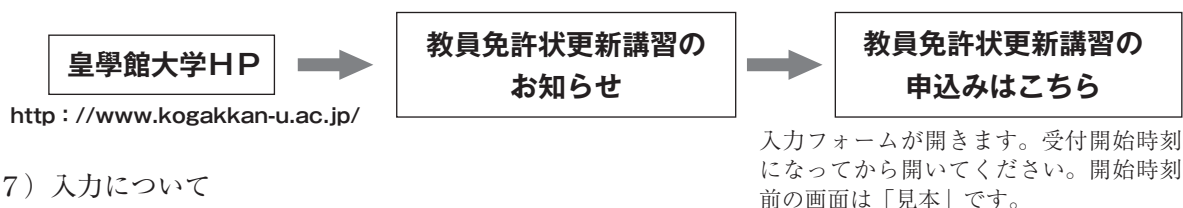
## 6、受講定員と受講申込み（仮申請）方法等について

- (1) 受講定員は、各会場150人程度とします。
- (2) 受付は各会場別に「先着順」といたします。  
受講定員に達した段階で、受付を終了させていただきます。
- (3) 各領域を分割した内容および科目ごとの受講申込みはできません。
- (4) 受講については、皇學館大学ホームページの更新講習申込画面より下記の「表Ⅱ」に従い電子申込みをしてください。  
ただし、第二次受付については、第一次受付で欠員が生じた場合のみの受付となります。
- (5) 郵送・FAX・電話などによる申込は出来ません。

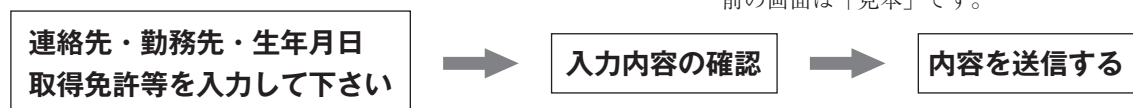
＜表Ⅱ＞

	受付期間	受講希望申込の方法
第一次受付	6月1日（木）16:00～ 6月3日（土）12:00まで （24時間申込可）	必修領域（6時間）、選択必修領域（6時間）、 選択領域（18時間）の3領域セット（30時間） で申込み
第二次受付	6月7日（水）16:00～ 6月9日（金）15:00まで （24時間申込可）	以下のいずれか一つを選んで申込み ①必修領域、選択必修領域、選択領域の3セット ②必修領域（6時間）のみ ③選択必修領域（6時間）のみ ④選択領域（18時間）のみ

- (6) 更新講習申込入力画面の入り方



- (7) 入力について



「入力内容の確認」をクリックし、内容が正しければ、「内容を送信する」を一度だけクリックしてください。念のため送信後の画面をプリントアウトしておいてください。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

※申込が正常に送信された場合、入力項目の「メールアドレス」を登録した方には、受付完了通知メールが届きます。ただし、受付完了通知メールのメールアドレスは、受付専用アドレスとなっていますので、質問等には使用しないでください。

## 7、本申請について

- (1) インターネットによる仮申請の受付完了後、下記の書類を連絡先に送付いたします。
- ① 領域ごとの本申請用紙「平成29年度 皇學館大学教員免許状更新講習受講申請書」(様式1)
  - ② 教員免許状更新講習受講料払込書 (コンビニエンスストア専用)
  - ③ 事前アンケート用紙 (課題意識調査)
  - ④ 本学からの送付用封筒 2 通 (長型 3 号) : 受講証、修了 (履修) 証明書送付用
  - ⑤ 本学指定の申請用封筒 (角型 2 号) : 本申請用紙等送付用
- (2) 必要事項を記入した下記の書類を、前記「(1) - ⑤」の封筒 (送料はご負担ください。) にて、**6月21日(水)** まで (消印有効) にお送りください。
- ア、本申請用紙「平成29年度 皇學館大学教員免許状更新講習受講申請書」(様式1)
- イ、事前アンケート用紙 (課題意識調査)
- ウ、送付用封筒 2 通 : 長型 3 号、住所・氏名を記入し、392円切手を貼付してください。  
(受講証および修了 (履修) 証明書送付のため、簡易書留にて送付します)

### 【留意事項】

- 申請用紙の押印 (申請者の印、および受講対象者証明者の公印)、その他記載事項をご確認ください。印字内容に誤りがある場合は、下記のように訂正して訂正印をお願いいたします。

### ※訂正見本



- 申請用紙に貼付される顔写真は、後日送付する受講証に同じ写真を貼付することになりますので、4 枚 (一領域のみ受講の場合は 2 枚) ご用意ください。
- 申請書の送付につきましては、送付記録が確認できる簡易書留でお送りください。

## 8、受講料と納入方法について

- (1) 必修領域 (6 時間) : 6,000円 選択必修領域 (6 時間) : 6,000円 選択領域 (18時間) : 18,000円
- (2) 受講料の納入は、指定の「教員免許状更新講習受講料払込書」により、コンビニエンスストア (払込手数料 : 無料、土・日含め24時間可) から、**6月21日(水)** までに納入してください。

## 9、受講証について

- (1) 領域ごとの受講証を、7月下旬にお送りいたします。
- (2) 受講証が届きましたら、「平成29年度 皇學館大学教員免許状更新講習受講申請書」(様式1) に貼付した顔写真と同じ写真を所定の欄に貼付してください。
- (3) 受講証で出席確認をさせていただきますので、受講当日必ず受講証をご持参ください。

## 10、認定試験と評価について

- (1) 文部科学省は、評価について「限られた時間内で客観的かつ公正な修了認定を行うためには、講習の開設者が試験により行うこと」と規定しているため、認定試験を行います。
- (2) 認定試験の実施内容については、「更新講習シラバス」(P.10～)を参照してください。
- (3) 修了(履修)認定に係る評価は、領域ごとに行います。
- (4) 成績評価については、下記<表Ⅲ>の評価基準に従い行います。  
各事項の到達目標の内容について対応する確認指標に照らし、以下のS・A・B・C・Fで評価を行い、Fと評価された方は不認定となります。
- (5) 成績に関する開示請求について(Fと評価された方のみ)  
講座(領域)に関する成績の開示請求をされる方は、「皇學館大学学生支援部教職支援担当教員免許状更新講習係」までお問い合わせください。

<表Ⅲ>

評価	点数	評価の定義
S	90～100	当該事項の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80～89	当該事項の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70～79	当該事項の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60～69	当該事項の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0～59	当該事項の到達目標に及ばない。

## 11、事後評価アンケートについて

- (1) 講座終了後に、事後評価アンケート用紙を配布しますので、講座(領域)に対する評価をお願いします。
- (2) 本評価は今後の教員免許状更新講習の改善のために行われるものであり、修了認定に係る評価には一切影響を与えません。

## 12、講習終了後の手続き等について

- (1) 修了(履修)認定を受けられた方には、修了(履修)証明書を送付(9月下旬予定)します。
- (2) この修了(履修)証明書で、免許管理者(勤務する学校等が所属する都道府県教育委員会)に更新講習修了の申請を行うことになります。

## 13、その他

- (1) 選択必修領域及び選択領域のコースの決定については、本申請用紙に記載いたします。  
ただし、会場の収容定員により第二希望となる場合がありますのでご了承ください(コンピュータによる抽選で決定させていただきます)。
- (2) 各教室は原則、座席指定となります。また、冷房の微調整が困難なため、各自にて防寒具等体温が調整できるものを準備していただきますようお願いいたします。
- (3) 欠席・遅刻・早退等の扱いについて  
欠席・遅刻・早退等で領域すべての時間数の受講が出来なかった場合は、**認定の対象となりません**のでご注意ください。
- (4) 暴風警報発令、地震等緊急事態発生の場合について  
講習を中断した場合、代替日については後日連絡させていただきます。
- (5) 個人情報の取り扱いについては、本学HP「プライバシー・ポリシー」に準拠します。



(見本) ※各領域ごとに発行

平成29年度 皇學館大学教員免許状更新講習受講申請書

(顔写真) 4×3cm				受講者番号
氏名	印	生年月日	昭和 年 月 日	
連絡先	(〒 - )	電話番号 携帯電話番号	- -	- -
受講対象者の区分 ※該当する区分にご記入ください。	①幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校に勤務している者	(勤務校・園)		(職名) ※いずれかに○ 教諭・助教諭・講師 養護教諭・養護助教諭 実習助手・寄宿舎指導員 学校栄養職員・養護職員
	②教員採用内定者・教員として任用・雇用される(見込みのある)者	(任用・雇用する(見込みのある)任命権者・学校法人・国立大学法人等勤務先)		
	③教員勤務経験者	(任用・雇用をしていた任命権者・学校法人・国立大学法人等の元勤務先)		
	④その他	(勤務先)	(職名)	
所有する免許状	教諭 免許状 教科	特別支援教育領域		
	教諭 免許状 教科	特別支援教育領域		
	教諭 免許状 教科	特別支援教育領域		
	教諭 免許状 教科	特別支援教育領域		
	教諭 免許状 教科	特別支援教育領域		
	教諭 免許状 教科	特別支援教育領域		
修了確認期限(有効期限)	平成 年 月 日			

区 分		会 場 名	開 設 日	選択領域コース
必修領域	教育の最新事情			/
選択必修領域	法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題、教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む)、進路指導及びキャリア教育、英語教育			
選択領域	伝統と文化の理解、道徳教育・生徒指導及び教科内容の充実			

裏面〔証明者記入様式〕に校長等により受講対象者であることの証明を受けてください。

〔証明者記入様式〕 ※ 校長等により受講対象者であることの証明を受けてください。(証明書類の添付でも可)

ふりがな		生 年 月 日	昭和      年      月      日
氏 名			

上記記載の受講者が受講対象者として該当している区分に「○」を付してください。

受講対象者の区分		該当区分
教育職員・ 教育の職	教育職員（主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師）（免許法第9条の3Ⅲ①）	
	校長（園長）、副校長（副園長）、教頭、実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員（免許状更新講習規則第9条Ⅰ①）	
	指導主事、社会教育主事その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する専門的事項の指導等に関する事務に従事している者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ②）	
	国・地方公共団体の職員等で、上記の者に準ずる者として免許管理者が定める者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ③）	
	その他文部科学大臣が定める者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ④）	
教員採用内定者・ 教員採用内定者 に準ずる者	教員採用内定者（免許法第9条の3Ⅲ②）	
	教員勤務経験者（免許状更新講習規則第9条Ⅱ①）	
	認定こども園及び認可保育所の保育士（免許状更新講習規則第9条Ⅱ②）	
	幼稚園と同一の設置者が設置する認可外保育施設に勤務する保育士（免許状更新講習規則第9条Ⅱ②）	
	教育職員となることが見込まれる者（臨時任用リスト搭載者等）（免許状更新講習規則第9条Ⅱ③）	

表面記載の者は上図該当区分のとおり、教育職員免許法第9条の3第3項又は免許状更新講習規則第9条に規定する受講対象者であることを証明する。

平成      年      月      日

(機関名・役職名)

証 明 者 名

(氏      名)

印

# 更新講習シラバス

---

伊勢会場（皇學館大学）

8月17日～21日 5日間 計30時間

項 目	国の教育施策や世界の教育の動向・教員としての子ども観、教育観等についての省察、子ども観、教育観等についての省察
科 目 名	国の教育施策・世界の教育の動向／子ども観、教育観等についての省察
担 当 講 師	市田 敏之
講 義 概 要	
<p>近年の我が国の教育政策について、諸外国の教育動向との比較を通じて理解を深める。 また、学校をめぐる近年の状況の変化を踏まえて、教員としての子ども観や教育観等について省察する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30） 経済のグローバル化が進行する社会状況を指摘したうえで、諸外国及び我が国において、人材育成政策としていかなる教育政策が展開されているのかを講じる。それとともに、近年の教育政策の課題やその課題に応じようとする政策の動向を指摘する。</p> <p>[休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－11：30） 過程や地域の変化、子どもの生活状況の変化、国際化、情報化等に伴う社会からの学校に対する期待や要望についての情報を提供することによって、受講者が自らの子ども観や教育観を省察する機会を提供する。</p> <p>③（11：30－12：10）試験</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>受講内容の理解度、受講内容についての発展的思考を評価する。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	子どもの変化についての理解
科 目 名	カウンセリングの技法を用いた子どもの理解と学級経営
担 当 講 師	渡邊 賢二
講 義 概 要	
<p>カウンセリング技法や心理教育（ソーシャルスキルトレーニングなど）の理論を用いて、発達障害児を含む子ども個々の理解，集団形成や学級経営について学習する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（13：10－14：30）        カウンセリングの基本的な技法，またソリューションフォーカスアプローチの理論を習得する。また事例を用いて理解を深める。        [休 憩 14：30－14：40]</p> <p>②（14：40－15：40）        ソーシャルスキルトレーニングなどの心理教育の理論と展開の方法を習得する。また心理教育を用いた学級経営を学習する。</p> <p>③（15：40－16：20）試験</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>学習した教育方法を取り上げ，配付資料などを参考に400字で整理する（30分）。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題
科 目 名	法令改正及び国の審議会の状況
担 当 講 師	新田 均
講 義 概 要	
<p>教育基本法改正の経緯、新教育基本法の骨子および関係教育法令の主要改正点、改訂学習指導要領要点について触れ、歴史的背景を踏まえ、どのような社会人を育てようとして旧教育基本法と新教育基本法が成立してきたのか考察します。後半は、学校危機管理上の具体的な事例を判例から学び、予見可能問題と非予見可能問題について考察するとともに学校危機への組織対応力を充実していくためには、教職員間の信頼関係の構築が大きなポイントであることを考察します。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）教育基本法改正の経緯            [休 憩 10：30－10：40]        ②（10：40－11：30）新教育基本法の骨子        ③（11：30－12：10）試験</p>	
<p>成績の評価方法・基準            講義における大筋の内容を理解していること。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題
科 目 名	学校（園）における危機管理上の課題
担 当 講 師	大藪 康雄
講 義 概 要	
<p>○ 学校（園）危機管理上の具体的な事例を判例から学び、予見可能問題と非予見可能問題について考察する。</p> <p>○ 学校（園）危機への組織対応力を充実していくためには、教職員間の信頼関係の構築が大きなポイントになることを考察する。</p>	
授 業 計 画	
<p>(13:10-14:30)</p> <p>①学校（園）における危機と危機管理 ②判例から学ぶ危機管理 ③非予見可能問題への対応</p> <p>[休憩 14:30-14:40]</p> <p>(14:40-16:20)</p> <p>④学校（園）の組織特性と組織的対応 ⑤学校（園）危機に対応する学校（園）組織の充実 ⑥まとめ ⑦試験（35分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>学校（園）危機に対応する学校（園）組織の充実についての理解度で評価する。 なお、試験は論述形式とする。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む）
科 目 名	学級崩壊への対応／いじめへの対応
担 当 講 師	松藤 司
講 義 概 要	
<p>1. 学級崩壊への対応と特別支援教育</p> <p>①定義・原因・類型</p> <p>②事例による対処法—原則10箇条</p> <p>③4月にやることと学校としての対応</p> <p>④特別支援教育実践事例</p> <p>2. いじめ問題への対応と不登校の予防・再登校支援</p> <p>⑤いじめはなぜ起こるのか</p> <p>⑥教師と学校の基本姿勢・いじめの定義</p> <p>⑦いじめ発見システム例</p> <p>⑧いじめを解決した事例と解決後の調査</p> <p>⑨いじめと犯罪</p> <p>⑩不登校への対応（原因、不登校児への対応・教育相談、克服した事例）</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）学級崩壊への対応と特別支援教育①</p> <p>〔休 憩 10：30－10：40〕</p> <p>②（10：40－12：10）学級崩壊への対応と特別支援教育②</p> <p>〔昼休憩 12：10－13：10〕</p> <p>③（13：10－14：30）いじめ問題への対応と不登校の予防と再登校支援①</p> <p>〔休 憩 14：30－14：40〕</p> <p>④（14：40－15：40）いじめ問題への対応と不登校の予防と再登校支援②</p> <p>⑤（15：40－16：20）試験についての注意事項（40分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>試験は論述形式。講座で学んだことを自分の経験を通して論述する。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>定時に始まります。遅刻しないようお願いします。</p> <p>テキストを用意します。試験はテキストを参考にしてもかまいません。</p>	
<p><b>備 考</b></p> <p>参考文献 向山洋一著『学級崩壊からの生還』扶桑社  松藤司著『子どもの荒れと向き合う』明治図書  金子保著『学級崩壊・授業困難はこうして乗り越える』小学館  向山洋一著『「いじめ」は必ず解決できる』扶桑社  森口朗著『いじめの構造』新潮新書  正高信男著『ヒトはなぜヒトをいじめるのか』講談社ブルーバックス  金子保著『不登校の予防と再登校への支援』田研出版</p>	



項 目	進路指導及びキャリア教育
科 目 名	学校における進路指導とキャリア教育
担 当 講 師	近田 芳久
講 義 概 要	
<p>情報化・グローバル化・少子高齢化・消費社会等、子どもたちを取り巻く社会環境は大きな変化を続けている。そんな中で、若者のフリーター傾向の広がりや無業者の増加、高水準で推移する就職後の早期離職等が大きな社会問題となっている。</p> <p>本講習では、このような社会問題を背景に学校における進路指導、キャリア教育の意義・特質・在り方を特別活動との関連において探り、その指導法について研修を深め、学校教育と職業生活との接続を目的とした公教育のあるべき姿を展望する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）</p> <p>進路指導の歴史的展開と学校において進路指導・キャリア教育が必要となった社会背景について 進路指導（キャリア教育）の意義と性格、これからの方向性について</p> <p>[休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）学校における進路指導（キャリア教育）の推進① 「特別活動における進路指導のあり方について」 「キャリア教育で育む能力について」</p> <p>③（13：10－14：30）学校における進路指導（キャリア教育）の推進② 「学校におけるキャリア教育の手順と方法について」 「進路相談『キャリアコーチング』について」</p> <p>[休 憩 14：30－14：40]</p> <p>④（14：40－15：20）キャリアビジョン「ドリームマップ」の作成</p> <p>⑤（15：20－16：20）試 験（60分。※問題配布時間など含む。）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中での積極的な取組、発問に対する適切な回答。</li> <li>・試験の中では、進路指導・キャリア教育についての的確な理解、学校におけるすべての教育活動の中で行う進路指導・キャリア教育の指導法について問う。</li> </ul>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>事前に、勤務校の進路指導・キャリア教育の指導計画等について予習しておいてください。</p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	英語教育
科 目 名	タスクに基づく英語教育：その理論と実践
担 当 講 師	中西 哲彦
講 義 概 要	
<p>本講習では、教室の中で「擬似的な」コミュニケーションの場面を設定するための取り組みの一つとして注目されているJane Willisが提唱するTask-based learning（TBL）の理論と実践について、模擬授業を体験しながら考察し、理解を深めます。その上で、実際の授業の中での「タスク」を用いた活動の組み立て方や指導方法を、模擬授業やワークショップを通じて習得することを目指します。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）タスクに基づく英語教育：その理論 [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）タスクに基づく英語教育：その実践～1 [昼休憩 12：10－13：10]</p> <p>③（13：10－14：30）タスクに基づく英語教育：その実践～2 [休 憩 14：30－14：40]</p> <p>④（14：40－15：20）まとめ</p> <p>⑤（15：20－16：20）試験（60分※問題配布時間など含む。）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>タスクに基づく英語教育の理論の理解度とその実践方法に関して評価をする。試験は論述形式とする。</p>	
受講者への要望	
備 考	

項 目	道徳教育
科 目 名	道徳教育の課題
担 当 講 師	石井 昌浩
講 義 概 要	
<p>道徳教育は、戦後教育のタブーとされ、1958年（昭和33）「道徳の時間」特設以後も、戦前の修身科の功罪をめぐる「政治的問題」として扱われてきた。つまり、道徳教育は戦後一貫して、冷静に「教育論」として議論されることはなかった。</p> <p>講義では、戦前・戦後における道徳教育の変遷をたどりつつ、「人生いかに生きるべきか」、「道徳とは何か」について、ソクラテスを初めとする先哲の思索を考察する。</p> <p>2015年（平成27）の学習指導要領の一部改正に伴い、「道徳」は「特別の教科である道徳」となり、小学校は2018（平成30）年、中学校は2019（平成31）年から「特別の教科である道徳」として全面実施される。</p> <p>これまでの「道徳」は、読み物資料を中心に扱い、登場人物の心情理解に重点を置き、気付いたことを書かせたり言わせたりする授業になりがちだった。</p> <p>教科化された道徳教育では、自ら問いを立て、解を求める、「考え、議論する道徳」へ質的転換を図ることが求められている。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－9：50）戦前・戦後の道徳教育 （教育勅語、修身科。占領期の道徳。「道徳の時間」特設。道徳の教科化）</p> <p>②（9：50－10：30）道徳教育の課題 その1 [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>③（10：40－11：30）道徳教育の課題 その2</p> <p>④ [試 験 11：30－12：10]</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>試験は論述形式とする。</p> <p>1 道徳教育教科化の意義について問う。</p> <p>2 道徳教育の今後に残された課題について問う。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	道徳教育
科 目 名	アメリカの道徳教育
担 当 講 師	渡邊 毅
講 義 概 要	
<p>90年代に入り、アメリカはCharacter Education（品格教育）を導入し、子供たちの学力向上、問題行動の減少に成果をあげてきているということが報告されている。また、P4C（子供のための哲学）と呼ばれる対話型の哲学教育が近年注目を集め、わが国で道徳授業にそれを導入する動きが出てきている。</p> <p>「特別の教科 道徳」の完全実施に向けて、こうしたアメリカの教育から何を学び取り、それをわが国の道徳教育にどのように活かしていけるかを検討していきたい。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（13：10－14：20）Character Educationの実際とわが国への導入例</p> <p>    [休 憩 14：20－14：30]</p> <p>②（14：30－15：40）P4Cの実際とわが国への導入例</p> <p>③（15：40－16：20）試験（40分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>試験は論述形式。講座で学んだことを踏まえ、わが国の道徳教育の課題や展望について論述する。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>予めわが国の道徳教育の現状や課題について調べたり、考えたりしておくことが望ましい。</p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	教科内容の充実（幼保）
科 目 名	保育における絵本の役割と活用方法について
担 当 講 師	小幡 章子
講 義 概 要	
<p>乳幼児期の子どもと関わる時に役に立つ保育文化財の一つに絵本がある。絵本の役割については、保育所保育指針および幼稚園教育要領の領域「言葉」の中で述べられている。本講義では、領域「言葉」のねらいを日々の保育の中で達成していくには、「どんな絵本」を「どんなふうに読めば」いいのかについて具体的に考察する。絵本の選び方・読み方について解説するとともに、読み聞かせの最中に起きた子どもたちの愉快な事例を紹介しながら、保育における絵本の活用方法を提案する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－9：45）保育における絵本の役割とは  ②（9：45－10：30）絵本の選び方と読み方について</p> <p style="text-align: center;">[休 憩 10：30－10：40]</p> <p>③（10：40－11：05）絵本を使った読書会－子ども目線で絵本の世界を楽しもう  ④（11：05－11：30）絵本を保育の中で生かすために  ⑤（11：30－12：10）試験（40分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>本講義で習得した知識やご自身の考えなどを論述していただき、評価する。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>講義中に設定しているグループワークには、意欲的に参加していただきたい。なお、グループワークに使う絵本はこちらで用意するので、受講者に持参していただく必要はない。</p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	教科内容の充実（幼保）
科 目 名	幼児教育におけるピアノ伴奏
担 当 講 師	高橋摩衣子
講 義 概 要	
<p>1、様々な子どもの歌のレパートリーに触れる。</p> <p>2、近年の子どもの歌の特徴について考察し、理解を深める。</p> <p>3、コードネームに基づくピアノ伴奏の技法を学び、子どもの歌の特徴を活かし子どもが伸びやかに歌うことのできるピアノ伴奏について考察、実践する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（13：10－13：40）近年の子どもの歌の特徴について</p> <p>②（13：40－14：10）コードネームの基礎知識</p> <p>③（14：10－14：30）伴奏法の学習</p> <p>〔休憩 14：30－14：40〕</p> <p>④（14：40－15：40）伴奏編曲の実践</p> <p>⑤（15：40－16：20）試験（40分）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>講義内容を理解した上で、少人数のグループに分かれて表現する。最後にその表現についての意見をまとめ、評価とする。</p>	
受講者への要望	
備 考	

項 目	教科内容の充実（小学校）
科 目 名	環境教育の教材開発
担 当 講 師	深草 正博
講 義 概 要	
<p>教師の資質が問われる時代となってきた。現代のような変化の激しい時代にはそれに即応することができるような、創造性のある教師が望まれている。すなわち、現在生起している課題に対してどのような教材開発ができるかということが重視されている。そしてまさに、現在は地球環境の悪化に対応して環境教育（広く言ってE S D）への期待が高まっている。</p> <p>そこで本研修では、環境教育の教材開発の一つとして、過去にさかのぼって地球温暖化や寒冷化、森林破壊といった状況が、そこに住む人々や社会にどのような影響を及ぼしたのか、それを学習することで現在の環境問題に対する教訓を読み取り、さらに環境という新しい視点から見るとこれまでに習ってきた歴史を全く違った目で見ることができないか、など、皆さんとじっくり考えてみたい。</p> <p>これまで、「こんな見方があったのか」「目からウロコ」「びっくりした」などの評価をいただいている。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30） 教師の創造性・環境教育への期待</p> <p>    [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－11：40） 過去における地球環境・森林破壊と日本歴史</p> <p>③（11：40－12：10） 試験（30分）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>    本研修の内容理解および建設的意見・感想などを試験に論述して頂き、それを評価する。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	教科内容の充実（小学校）
科 目 名	体育授業の目的とその学習方法について
担 当 講 師	小木曾一之
講 義 概 要	
<p>現在の子ども達には、体力・運動能力の低下だけではなく、生活習慣病や心の病などの増加傾向がみられる。そのような子ども達にとって、体育授業等での適切な身体運動は必要不可欠である。しかし、実際には、運動させるだけ、運動技術を教えるだけ等、子ども達が「楽しく」「自ら」「学習する」ための指導方法になっていない場合も多い。そこで、講義では、初等教育における体育科にはどのような役割があるのか、学習過程を促進するにはどのように取り組むべきか等について、現在の子ども達の現状を踏まえながら考察し、どのような目的で、どのように身体運動を「学習させていくべきか」について考えていく。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（13：10－14：30）各種データに基づく体育授業の目的、方法そして子ども達への接し方・教え方について （14：40－15：10）試験（30分）</p> <p>〔休 憩 15：10－15：20〕</p> <p>②（15：20－16：20）体育授業の実践例（実技）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>体育授業が果たすべき役割やその効果的な実践方法についての理解度を判断する。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>2 講目は体育館で簡単な授業のやり方を1時間弱で実践します。体操服と体育館シューズを持参してください。強度の高い身体運動は行いませんが、暑いと思います。そのための準備をお願いします。</p>	
<p><b>備 考</b></p>	



項 目	教科内容の充実（国語）
科 目 名	国語教育におけるビブリオバトルの活用
担 当 講 師	岡野 裕行
<b>講 義 概 要</b>	
<p>学校教育にビブリオバトルを導入し、児童生徒の読書活動の活性化つなげていく事例が、全国的に増えてきている。国語科教科書の改訂時にトピックスの一つに取り上げられたため、ビブリオバトルに対する注目度が昨今ますます高まっている。しかし、児童・生徒に対する「指導」という考え方が馴染まないゲームであるため、学校教育に導入しようとする際には工夫が求められる。本講義では、全国各地のビブリオバトルの実践例を取り上げながら、導入に際してのポイントを抑えていくことを目的とする。また、併せて実践演習の時間を取り入れることで、実体験をもとにしたさらなる理解を進めていく。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>①（9：00－10：30）拡張される本、拡張される読書（90分）          [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）ビブリオバトルの効用と実践のポイント（90分）          [昼休憩 12：10－13：10]</p> <p>③（13：10－14：10）ビブリオバトルの実践演習（60分）          [休 憩 14：10－14：20]</p> <p>④（14：20－15：50）演習の振り返り、読書体験の共有がもたらすもの（90分）</p> <p>⑤（15：50－16：20）まとめ・筆記試験（30分）</p>	
<b>成績の評価方法・基準</b>	
<p>以下の観点から総合的に評価します。</p> <p>①ビブリオバトルの実践演習および振り返りへの参加度</p> <p>②まとめ・筆記試験（論述形式）の内容</p>	
<b>受講者への要望</b>	
<p>実践演習で用いるための「オススの本」を、各自1冊ずつ持参してきてください。</p>	
<b>備 考</b>	
<p>以下の書籍のいずれかを、可能な範囲で事前に読んできてください。</p> <p>①谷口忠大著『ビブリオバトル：本を知り人を知る書評ゲーム』（文藝春秋、2013年）</p> <p>②ビブリオバトル普及委員会編『ビブリオバトル入門』（情報科学技術協会、2013年）</p> <p>③谷口忠大監修、粕谷亮美文『ビブリオバトルを楽しもう』（さ・え・ら書房、2014年）</p> <p>④ビブリオバトル普及委員会編『ビブリオバトルハンドブック』（子どもの未来社、2015年）</p> <p>⑤谷口忠大監修、粕谷亮美文『マンガでわかるビブリオバトルに挑戦！学校・図書館で成功させる活用実践ガイド』（さ・え・ら書房、2016年）</p> <p>⑥須藤秀紹・粕谷亮美文編『読書とコミュニケーション：ビブリオバトル実践集：小学校・中学校・高校』（子どもの未来社、2016年）</p>	

項 目	教科内容の充実（社会・地理歴史）
科 目 名	環境教育における教材研究のあり方 ―画像と映像からみた地球環境―
担 当 講 師	外山 秀一
講 義 概 要	
<p>環境地理学と自然地理学の立場から、地震・津波・放射能汚染を例に、自然災害と人為災害についての教材研究のあり方を考える。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00～10：30） 1. 自然災害</p> <p style="margin-left: 40px;">a. プレート・テクトニクス</p> <p style="margin-left: 40px;">b. 活断層と地震</p> <p style="margin-left: 20px;">[休 憩 10：30～10：40]</p> <p>②（10：40～12：10） c. プレートと地震・津波</p> <p style="margin-left: 40px;">d. 三重県の活断層と地震</p> <p style="margin-left: 40px;">e. 南海トラフと地震・津波</p> <p style="margin-left: 20px;">[昼休憩 12：10～13：10]</p> <p>③（13：10～14：40） 2. 人為災害</p> <p style="margin-left: 40px;">a. 異常気象と地球温暖化</p> <p style="margin-left: 40px;">b. 森林破壊</p> <p style="margin-left: 40px;">c. 化学汚染</p> <p style="margin-left: 20px;">[休 憩 14：40～14：50]</p> <p>④（14：50～15：40） d. 放射能汚染</p> <p style="margin-left: 40px;">3. 自然と人間との共存</p> <p>⑤（15：40～16：20） 試験（40分）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>環境教育の教材のあり方について意見をまとめる。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	教科内容の充実（ICT活用）
科 目 名	ICT活用と、プログラミングによる算数・数学教材作成
担 当 講 師	杉野 裕子
<b>講 義 概 要</b>	
<p>学校におけるICT環境整備や、教材コンテンツ開発などが進みつつあり、今後これらの機器や教材を活用した授業力が求められるようになる。本講習では、算数・数学の教材をコンピュータプログラミングによって作成する。この体験を通して、デジタル教材の利点や、プログラミングで使われる数学と数学的思考力を活用する体験するとともに、ICT活用授業についてのイメージをもつ。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>①（9：00～9：30）算数・数学の授業におけるICT教材活用（講義）</p> <p>②（9：30～10：00）プログラミング言語LOGOについて（講義）</p> <p>    [休 憩 10：00～10：10]</p> <p>③（10：10～12：10）プログラミングの基礎および動画などの作成（演習）</p> <p>    [昼休憩 12：10～13：10]</p> <p>④（13：10～15：10）算数・数学教材作成（演習）</p> <p>    [休 憩 15：10～15：20]</p> <p>⑤（15：20～15：50）作成した教材の発表（プレゼンテーション）</p> <p>⑥（15：50～16：20）試験（30分）</p>	
<b>成績の評価方法・基準</b>	
作成教材の算数・数学教育的価値および、論述筆記試験による。	
<b>受講者への要望</b>	
情報処理教室のコンピュータを使って行います。USBメモリのみ持参下さい。	
<b>備 考</b>	
幼児から大人まで使用できる日本語LOGO言語によってプログラミングをします。プログラミング初体験の方からある程度経験のある方まで、個人の力量に合った教材作成をめざします。プログラミング技術だけではなく、教材としてのよさが大切であると考えます。	

項 目	教科内容の充実（理科教育）
科 目 名	理科教材としての昆虫の活用
担 当 講 師	中松 豊
講 義 概 要	
<p>昆虫は我々の身の回りに多く生息するため、理科の実験教材として確保しやすく、子ども達にもなじみやすい存在である。本講習では昆虫を使った実験を実際に体験してもらい、昆虫を教材化するうえで、どのような工夫や配慮が必要かを考えてもらう。また目には見えない昆虫や極限で生きる昆虫の存在を知ること、昆虫の多様性をより深く理解してもらうことも目的の1つとする。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）理科教材としての昆虫と教材開発（講義）        [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）極限で生きる昆虫（実験）        [昼休憩 12：10－13：10]</p> <p>③（13：10－14：30）昆虫教材の活用Ⅰ（実験）        [休 憩 14：30－14：40]</p> <p>④（14：40－15：20）昆虫教材の活用Ⅱ（実験）</p> <p>⑤（15：20－16：20）試験（60分）</p>	
<p>成績の評価方法・基準        筆記試験による。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	伝統と文化の理解
科 目 名	伝統の心と技 ー芸道・建築・工芸・芸能等についてー
担 当 講 師	岩崎 正彌
講 義 概 要	
<p>本講は、日本の伝統文化を概括的に俯瞰し、その真なる特質を考察し、特に「芸道」「建築」「工芸」「芸能」の各分野において、それぞれの具体的な姿や作品、製作の現場や活躍の舞台、それらの見所や魅力等を、映像を使ってわかり易く解説します。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：15）Ⅰ．概論および芸道論：          ・自国の伝統文化を理解する意義 ・日本の伝統文化の範囲          ・世界の中での、日本の伝統文化の特質 ・人格を磨き、徳を高める「道」          [休 憩 10：15－10：25]</p> <p>②（10：25－11：25）Ⅱ．建築論：日本の建築の特質          ・尊いものを敬う空間 ・真行草の調和（書院・数奇屋・草庵茶室など）          ・理想境の表現 庭園（浄土の庭・禅の石庭・茶の露地）          [昼 食・休 憩 11：25－12：25]</p> <p>③（12：25－13：25）Ⅲ．工芸論：日本の工芸の特質          ・工芸の学び方          ・様々な工芸（陶磁・染織・漆器・料理など）          [休 憩 13：25－13：35]</p> <p>④（13：35－15：05）Ⅳ．芸能論：日本の芸能の特質          ・雅楽・能楽・狂言・歌舞伎・文楽          V．三重県の伝統文化について          [休 憩 15：05－15：15]</p> <p>⑤（15：15－16：10）          ・試験前の準備（10分） ・試験（40分） ・試験の回収（5分）</p> <p>⑥（16：10－16：20）Ⅵ．まとめ：美しい国を、美しい三重を</p>	
成績の評価方法・基準	
<p>伝統文化への理解度を、各分野への論述式の回答によって評価いたします。</p>	
受講者への要望	
<p>日本の伝統文化の学び方、そして楽しみ方を味わっていただき、楽しみながら、次世代へその魅力を伝えていただけるようにと、祈っております。</p>	
備 考	



# 更新講習シラバス

---

四日市会場（じばさん三重）

8月17日～22日 5日間 計30時間

項 目	国の教育施策や世界の教育の動向・教員としての子ども観、教育観等についての省察、子ども観、教育観等についての省察
科 目 名	国の教育施策・世界の教育の動向／子ども観、教育観等についての省察
担 当 講 師	市田 敏之
講 義 概 要	
<p>近年の我が国の教育政策について、諸外国の教育動向との比較を通じて理解を深める。 また、学校をめぐる近年の状況の変化を踏まえて、教員としての子ども観や教育観等について省察する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30） 経済のグローバル化が進行する社会状況を指摘したうえで、諸外国及び我が国において、人材育成政策としていかなる教育政策が展開されているのかを講じる。それとともに、近年の教育政策の課題やその課題に応じようとする政策の動向を指摘する。 [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－11：30） 過程や地域の変化、子どもの生活状況の変化、国際化、情報化等に伴う社会からの学校に対する期待や要望についての情報を提供することによって、受講者が自らの子ども観や教育観を省察する機会を提供する。</p> <p>③（11：30－12：10）試験</p>	
<p>成績の評価方法・基準 受講内容の理解度、受講内容についての発展的思考を評価する。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	



項 目	子どもの変化についての理解
科 目 名	カウンセリングの技法を用いた子どもの理解と学級経営
担 当 講 師	渡邊 賢二
講 義 概 要	
<p>カウンセリング技法や心理教育（ソーシャルスキルトレーニングなど）の理論を用いて、発達障害児を含む子ども個々の理解，集団形成や学級経営について学習する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（13：10－14：30）                  カウンセリングの基本的な技法，またソリューションフォーカスアプローチの理論を習得する。また事例を用いて理解を深める。                  [休 憩 14：30－14：40]</p> <p>②（14：40－15：40）                  ソーシャルスキルトレーニングなどの心理教育の理論と展開の方法を習得する。また心理教育を用いた学級経営を学習する。</p> <p>③（15：40－16：20）試験</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>学習した教育方法を取り上げ，配付資料などを参考に400字で整理する（30分）。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題
科 目 名	法令改正及び国の審議会の状況
担 当 講 師	新田 均
講 義 概 要	
<p>教育基本法改正の経緯、新教育基本法の骨子および関係教育法令の主要改正点、改訂学習指導要領要点について触れ、歴史的背景を踏まえ、どのような社会人を育てようとして旧教育基本法と新教育基本法が成立してきたのか考察します。後半は、学校危機管理上の具体的な事例を判例から学び、予見可能問題と非予見可能問題について考察するとともに学校危機への組織対応力を充実していくためには、教職員間の信頼関係の構築が大きなポイントであることを考察します。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）教育基本法改正の経緯                  [休 憩 10：30－10：40]                  ②（10：40－11：30）新教育基本法の骨子                  ③（11：30－12：10）試験</p>	
<p>成績の評価方法・基準                  講義における大筋の内容を理解していること。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	法令改正及び国の審議会の状況及び学校における危機管理上の課題
科 目 名	学校（園）における危機管理上の課題
担 当 講 師	大藪 康雄
講 義 概 要	
<p>○ 学校（園）危機管理上の具体的な事例を判例から学び、予見可能問題と非予見可能問題について考察する。</p> <p>○ 学校（園）危機への組織対応力を充実していくためには、教職員間の信頼関係の構築が大きなポイントになることを考察する。</p>	
授 業 計 画	
<p>(13:10-14:30)</p> <p>①学校（園）における危機と危機管理 ②判例から学ぶ危機管理 ③非予見可能問題への対応</p> <p style="padding-left: 40px;">[休 憩 14:30-14:40]</p> <p>(14:40-16:20)</p> <p>④学校（園）の組織特性と組織的対応 ⑤学校（園）危機に対応する学校（園）組織の充実 ⑥まとめ ⑦試験（35分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>学校（園）危機に対応する学校（園）組織の充実についての理解度で評価する。 なお、試験は論述形式とする。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	教育相談（いじめ及び不登校への対応を含む）
科 目 名	学級崩壊への対応／いじめへの対応
担 当 講 師	松藤 司
講 義 概 要	
<p>1. 学級崩壊への対応と特別支援教育</p> <p>①定義・原因・類型</p> <p>②事例による対処法—原則10箇条</p> <p>③4月にやることと学校としての対応</p> <p>④特別支援教育実践事例</p> <p>2. いじめ問題への対応と不登校の予防・再登校支援</p> <p>⑤いじめはなぜ起こるのか</p> <p>⑥教師と学校の基本姿勢・いじめの定義</p> <p>⑦いじめ発見システム例</p> <p>⑧いじめを解決した事例と解決後の調査</p> <p>⑨いじめと犯罪</p> <p>⑩不登校への対応（原因、不登校児への対応・教育相談、克服した事例）</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）学級崩壊への対応と特別支援教育①</p> <p>〔休 憩 10：30－10：40〕</p> <p>②（10：40－12：10）学級崩壊への対応と特別支援教育②</p> <p>〔昼休憩 12：10－13：10〕</p> <p>③（13：10－14：30）いじめ問題への対応と不登校の予防と再登校支援①</p> <p>〔休 憩 14：30－14：40〕</p> <p>④（14：40－15：40）いじめ問題への対応と不登校の予防と再登校支援②</p> <p>⑤（15：40－16：20）試験についての注意事項（40分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>試験は論述形式。講座で学んだことを自分の経験を通して論述する。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>定時に始まります。遅刻しないようお願いします。</p> <p>テキストを用意します。試験はテキストを参考にしてもかまいません。</p>	
<p><b>備 考</b></p> <p>参考文献 向山洋一著『学級崩壊からの生還』扶桑社          松藤司著『子どもの荒れと向き合う』明治図書          金子保著『学級崩壊・授業困難はこうして乗り越える』小学館          向山洋一著『「いじめ」は必ず解決できる』扶桑社          森口朗著『いじめの構造』新潮新書          正高信男著『ヒトはなぜヒトをいじめるのか』講談社ブルーバックス          金子保著『不登校の予防と再登校への支援』田研出版</p>	

項 目	進路指導及びキャリア教育
科 目 名	学校における進路指導とキャリア教育
担 当 講 師	近田 芳久
<b>講 義 概 要</b>	
<p>情報化・グローバル化・少子高齢化・消費社会等、子どもたちを取り巻く社会環境は大きな変化を続けている。そんな中で、若者のフリーター傾向の広がりや無業者の増加、高水準で推移する就職後の早期離職等が大きな社会問題となっている。</p> <p>本講習では、このような社会問題を背景に学校における進路指導、キャリア教育の意義・特質・在り方を特別活動との関連において探り、その指導法について研修を深め、学校教育と職業生活との接続を目的とした公教育のあるべき姿を展望する。</p>	
<b>授 業 計 画</b>	
<p>①（9：00－10：30）                  進路指導の歴史的展開と学校において進路指導・キャリア教育が必要となった社会背景について                  進路指導（キャリア教育）の意義と性格、これからの方向性について</p> <p>[休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）学校における進路指導（キャリア教育）の推進①                  「特別活動における進路指導のあり方について」                  「キャリア教育で育む能力について」</p> <p>③（13：10－14：30）学校における進路指導（キャリア教育）の推進②                  「学校におけるキャリア教育の手順と方法について」                  「進路相談『キャリアコーチング』について」</p> <p>[休 憩 14：30－14：40]</p> <p>④（14：40－15：20）キャリアビジョン「ドリームマップ」の作成</p> <p>⑤（15：20－16：20）試 験（60分。※問題配布時間など含む。）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中での積極的な取組、発問に対する適切な回答。</li> <li>・試験の中では、進路指導・キャリア教育についての的確な理解、学校におけるすべての教育活動の中で行う進路指導・キャリア教育の指導法について問う。</li> </ul>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>事前に、勤務校の進路指導・キャリア教育の指導計画等について予習しておいてください。</p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	英語教育
科 目 名	タスクに基づく英語教育：その理論と実践
担 当 講 師	中西 哲彦
講 義 概 要	
<p>本講習では、教室の中で「擬似的な」コミュニケーションの場面を設定するための取り組みの一つとして注目されているJane Willsが提唱するTask-based learning（TBL）の理論と実践について、模擬授業を体験しながら考察し、理解を深めます。その上で、実際の授業の中での「タスク」を用いた活動の組み立て方や指導方法を、模擬授業やワークショップを通じて習得することを目指します。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）タスクに基づく英語教育：その理論          [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）タスクに基づく英語教育：その実践～1          [昼休憩 12：10－13：10]</p> <p>③（13：10－14：30）タスクに基づく英語教育：その実践～2          [休 憩 14：30－14：40]</p> <p>④（14：40－15：20）まとめ</p> <p>⑤（15：20－16：20）試験（60分※問題配布時間など含む。）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>タスクに基づく英語教育の理論の理解度とその実践方法に関して評価をする。試験は論述形式とする。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	道徳教育
科 目 名	道徳教育の課題
担 当 講 師	石井 昌浩
講 義 概 要	
<p>道徳教育は、戦後教育のタブーとされ、1958年（昭和33）「道徳の時間」特設以後も、戦前の修身科の功罪をめぐる「政治的問題」として扱われてきた。つまり、道徳教育は戦後一貫して、冷静に「教育論」として議論されることはなかった。</p> <p>講義では、戦前・戦後における道徳教育の変遷をたどりつつ、「人生いかに生きるべきか」、「道徳とは何か」について、ソクラテスを初めとする先哲の思索を考察する。</p> <p>2015年（平成27）の学習指導要領の一部改正に伴い、「道徳」は「特別の教科である道徳」となり、小学校は2018（平成30）年、中学校は2019（平成31）年から「特別の教科である道徳」として全面実施される。</p> <p>これまでの「道徳」は、読み物資料を中心に扱い、登場人物の心情理解に重点を置き、気付いたことを書かせたり言わせたりする授業になりがちだった。</p> <p>教科化された道徳教育では、自ら問いを立て、解を求める、「考え、議論する道徳」へ質的転換を図ることが求められている。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－9：50）戦前・戦後の道徳教育 （教育勅語、修身科。占領期の道徳。「道徳の時間」特設。道徳の教科化）</p> <p>②（9：50－10：30）道徳教育の課題 その1 [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>③（10：40－11：30）道徳教育の課題 その2</p> <p>④ [試 験 11：30－12：10]</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>試験は論述形式とする。</p> <p>1 道徳教育教科化の意義について問う。</p> <p>2 道徳教育の今後に残された課題について問う。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	道徳教育
科 目 名	アメリカの道徳教育
担 当 講 師	渡邊 毅
講 義 概 要	
<p>90年代に入り、アメリカはCharacter Education（品格教育）を導入し、子供たちの学力向上、問題行動の減少に成果をあげてきているということが報告されている。また、P4C（子供のための哲学）と呼ばれる対話型の哲学教育が近年注目を集め、わが国で道徳授業にそれを導入する動きが出てきている。</p> <p>「特別の教科 道徳」の完全実施に向けて、こうしたアメリカの教育から何を学び取り、それをわが国の道徳教育にどのように活かしていけるかを検討していきたい。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（13：10－14：20）Character Educationの実際とわが国への導入例</p> <p style="padding-left: 2em;">[休 憩 14：20－14：30]</p> <p>②（14：30－15：40）P4Cの実際とわが国への導入例</p> <p>③（15：40－16：20）試験（40分）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p style="padding-left: 2em;">試験は論述形式。講座で学んだことを踏まえ、わが国の道徳教育の課題や展望について論述する。</p>	
<p>受講者への要望</p> <p style="padding-left: 2em;">予めわが国の道徳教育の現状や課題について調べたり、考えたりしておくことが望ましい。</p>	
備 考	



項 目	教科内容の充実（幼保）
科 目 名	保育における絵本の役割と活用方法について
担 当 講 師	小幡 章子
講 義 概 要	
<p>乳幼児期の子どもと関わる時に役に立つ保育文化財の一つに絵本がある。絵本の役割については、保育所保育指針および幼稚園教育要領の領域「言葉」の中で述べられている。本講義では、領域「言葉」のねらいを日々の保育の中で達成していくには、「どんな絵本」を「どんなふうに読めば」いいのかについて具体的に考察する。絵本の選び方・読み方について解説するとともに、読み聞かせの最中に起きた子どもたちの愉快的事例を紹介しながら、保育における絵本の活用方法を提案する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－9：45）保育における絵本の役割とは                  ②（9：45－10：30）絵本の選び方と読み方について</p> <p style="padding-left: 40px;">[休 憩 10：30－10：40]</p> <p>③（10：40－11：05）絵本を使った読書会－子ども目線で絵本の世界を楽しもう                  ④（11：05－11：30）絵本を保育の中で生かすために                  ⑤（11：30－12：10）試験（40分）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>本講義で習得した知識やご自身の考えなどを論述していただき、評価する。</p>	
<p>受講者への要望</p> <p>講義中に設定しているグループワークには、意欲的に参加していただきたい。なお、グループワークに使う絵本はこちらで用意するので、受講者に持参していただく必要はない。</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	教科内容の充実（幼保）
科 目 名	幼児教育におけるピアノ伴奏
担 当 講 師	高橋摩衣子
講 義 概 要	
<p>1、様々な子どもの歌のレパートリーに触れる。</p> <p>2、近年の子どもの歌の特徴について考察し、理解を深める。</p> <p>3、コードネームに基づくピアノ伴奏の技法を学び、子どもの歌の特徴を活かし子どもが伸びやかに歌うことのできるピアノ伴奏について考察、実践する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（13：10－13：40）近年の子どもの歌の特徴について</p> <p>②（13：40－14：10）コードネームの基礎知識</p> <p>③（14：10－14：30）伴奏法の学習</p> <p>〔休憩 14：30－14：40〕</p> <p>④（14：40－15：40）伴奏編曲の実践</p> <p>⑤（15：40－16：20）試験（40分）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>講義内容を理解した上で、少人数のグループに分かれて表現する。最後にその表現についての意見をまとめ、評価とする。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	教科内容の充実（小学校）
科 目 名	ことば教育の充実をめざして
担 当 講 師	中條 敦仁
講 義 概 要	
<p>人間関係形成能力、コミュニケーション能力が、社会において強く求められている。これら能力の向上は学習指導要領にも記され、学校教育の重要な視点の一つとなっている。</p> <p>本講座では、両能力形成の根幹をなす「ことば」に注目したい。どう伝わっているのか、どれほど伝わっているのかを体感する。その上で、ことば教育のあり方を中心にグループディスカッションを行い、ことば教育・国語教育に関わる具体的な諸問題を検討し、今後の教育活動の糧とする。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00-9：50）講義「ことばの伝わり方を実感し、ことば教育について考える」</p> <p>    [休 憩 9：50-10：00]</p> <p>②（10：00-10：35）グループワーク「ことば教育にかかわるテーマでの話し合い」</p> <p>③（10：35-11：15）情報共有「グループワークの結果を発表し合う」</p> <p>④（11：15-11：30）全体のまとめ</p> <p>    [休 憩 11：30-11：30]</p> <p>⑤（11：30-12：10）受講内容を踏まえた論述試験（40分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>評価は、グループワークの結果報告内容及び、受講内容にかかわる論述試験の結果をもとに総合的に判断する。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>受講者参加型の講義ですので、積極的な参加をお願いいたします。</p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	教科内容の充実（小学校）
科 目 名	環境教育の教材開発
担 当 講 師	深草 正博
講 義 概 要	
<p>教師の資質が問われる時代となってきた。現代のような変化の激しい時代にはそれに即応することができるような、創造性のある教師が望まれている。すなわち、現在生起している課題に対してどのような教材開発ができるかということが重視されている。そしてまさに、現在は地球環境の悪化に対応して環境教育（広く言ってE S D）への期待が高まっている。</p> <p>そこで本研修では、環境教育の教材開発の一つとして、過去にさかのぼって地球温暖化や寒冷化、森林破壊といった状況が、そこに住む人々や社会にどのような影響を及ぼしたのか、それを学習することで現在の環境問題に対する教訓を読み取り、さらに環境という新しい視点から見るとこれまでに習ってきた歴史を全く違った目で見ることができないか、など、皆さんとじっくり考えてみたい。</p> <p>これまで、「こんな見方があったのか」「目からウロコ」「びっくりした」などの評価をいただいている。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（13：10－14：40） 教師の創造性・環境教育への期待</p> <p>    [休 憩 14：40－14：50]</p> <p>②（14：50－15：50） 過去における地球環境・森林破壊と日本歴史</p> <p>③（15：50－16：20） 試験（30分）</p>	
<p>成績の評価方法・基準</p> <p>    本研修の内容理解および建設的意見・感想などを試験に論述して頂き、それを評価する。</p>	
<p>受講者への要望</p>	
<p>備 考</p>	

項 目	教科内容の充実（国語）
科 目 名	近代文学作品の分析と解釈 ―その理論と実践―
担 当 講 師	小堀 洋平
講 義 概 要	
<p>本講義では、文学作品（教材）の分析・解釈の前提となる文学理論について、はじめにその歴史的動向を巨視的に捉え、ながらく文学理論の二つの底流をなしてきた作品解釈的方法と構造主義的方法の統合がいかにして可能かを考察する。そのうえで、それらの文学理論の実際の教材研究への応用方法を、近代の文学作品を例として提示することとしたい。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）文学理論の歴史的動向          [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）作品解釈と構造主義の統合          [昼休憩 12：10－13：10]</p> <p>③（13：10－14：30）作品（教材）研究への応用例          [休 憩 14：30－14：40]</p> <p>④（14：40－15：20）まとめ</p> <p>⑤（15：20－16：20）試験（60分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>講義でとりあげた文学理論の理解度と、実際の作品（教材）研究へのその応用について、論述形式の筆記試験により評価する。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p> <p>特になし。</p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	教科内容の充実（社会・地理歴史）
科 目 名	日本史と世界史の架橋をめざして
担 当 講 師	谷口 裕信
講 義 概 要	
<p>現行の学習指導要領では、日本史を各時代の国際環境と関連付け、世界史的視点から取り上げるように定められている。このような日本史と世界史との連関による歴史的思考力の養成は、今後ますます求められるだろう。</p> <p>そこで本講義は、近代日本が関わった戦争というイメージの薄い、第一次世界大戦を素材として、日本史と世界史の架橋を試みたい。国際社会における日本の立場の変化、大戦を通じて日本社会にもたらされた影響などから、日本史と世界史において大戦が持った意味を考察する。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）第一次世界大戦開戦前後の国際環境と日本 [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）第一次世界大戦後の世界と日本① [昼休憩 12：10－13：10]</p> <p>③（13：10－14：30）第一次世界大戦後の世界と日本② [休 憩 14：30－14：40]</p> <p>④（14：40－15：20）まとめ</p> <p>⑤（15：20－16：20）試験（60分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>第一次世界大戦後の世界の変化と日本の変化とを、関連付けて理解できたかどうか、その度合いを評価する。試験は論述形式とする。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	教科内容の充実（特別支援教育）
科 目 名	特別支援教育の授業づくり
担 当 講 師	山本 智子
講 義 概 要	
<p>特別支援教育の授業の歴史的研究、授業づくりに重要な基本用語について理解する。その上で、授業における環境、個別の指導計画等や教育課程等と授業案の関係について実践的な立場から具体的な諸問題を検討し、今後の教育活動の糧とする。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：30）授業研究の理論①          [休 憩 10：30－10：40]</p> <p>②（10：40－12：10）授業研究の理論②          [昼休憩 12：10－13：10]</p> <p>③（13：10－14：30）授業づくりの検討（グループワーク）          [休 憩 14：30－14：40]</p> <p>④（14：40－15：20）まとめ</p> <p>⑤（15：20－16：20）試験（60分）</p>	
<p><b>成績の評価方法・基準</b></p> <p>筆記試験（論述式）による。</p> <p>授業づくりにおける基本用語の理解と授業づくりの理論等、講義内容が理解できたかを総合的に評価する。</p>	
<p><b>受講者への要望</b></p>	
<p><b>備 考</b></p>	

項 目	伝統と文化の理解
科 目 名	伝統の心と技 - 芸道・建築・工芸・芸能等について -
担 当 講 師	岩崎 正彌
講 義 概 要	
<p>本講は、日本の伝統文化を概括的に俯瞰し、その真なる特質を考察し、特に「芸道」「建築」「工芸」「芸能」の各分野において、それぞれの具体的な姿や作品、製作の現場や活躍の舞台、それらの見所や魅力等を、映像を使ってわかり易く解説します。</p>	
授 業 計 画	
<p>①（9：00－10：15）Ⅰ．概論および芸道論：          ・自国の伝統文化を理解する意義 ・日本の伝統文化の範囲          ・世界の中での、日本の伝統文化の特質 ・人格を磨き、徳を高める「道」          [休 憩 10：15－10：25]</p> <p>②（10：25－11：25）Ⅱ．建築論：日本の建築の特質          ・尊いものを敬う空間 ・真行草の調和（書院・数奇屋・草庵茶室など）          ・理想境の表現 庭園（浄土の庭・禅の石庭・茶の露地）          [昼 食・休 憩 11：25－12：25]</p> <p>③（12：25－13：25）Ⅲ．工芸論：日本の工芸の特質          ・工芸の学び方          ・様々な工芸（陶磁・染織・漆器・料理など）          [休 憩 13：25－13：35]</p> <p>④（13：35－15：05）Ⅳ．芸能論：日本の芸能の特質          ・雅楽・能楽・狂言・歌舞伎・文楽          Ⅴ．三重県の伝統文化について          [休 憩 15：05－15：15]</p> <p>⑤（15：15－16：10）          ・試験前の準備（10分） ・試験（40分） ・試験の回収（5分）</p> <p>⑥（16：10－16：20）Ⅵ．まとめ：美しい国を、美しい三重を</p>	
成績の評価方法・基準	
<p>伝統文化への理解度を、各分野への論述式の回答によって評価いたします。</p>	
受講者への要望	
<p>日本の伝統文化の学び方、そして楽しみ方を味わっていただき、楽しみながら、次世代へその魅力を伝えていただけるようにと、祈っております。</p>	
備 考	







## 伊勢会場 (皇學館大学)

8月17日(木)~21日(月)



### ■ 皇學館大学

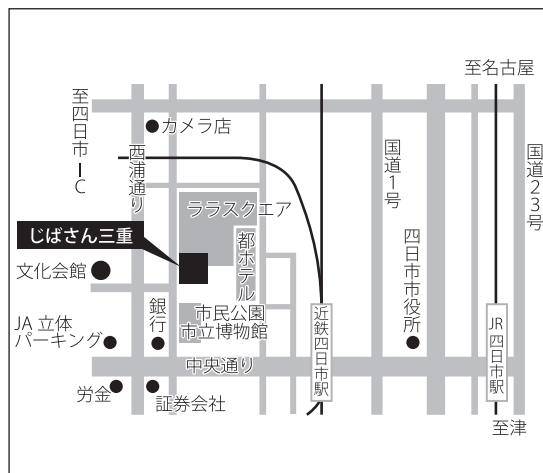
三重県伊勢市神田久志本町1704番地  
TEL0596-22-0201(代)

### ■ 交通

伊勢市駅(JR・近鉄)及び宇治山田駅(近鉄)より  
内宮前(徴古館前経由)又は宿浦行きバス乗車(約10分)、  
皇学館大学前下車。又は宇治山田駅より徒歩約15分。

## 四日市会場 (じばさん三重)

8月17日(木)~22日(火)



### ■ じばさん三重

三重県四日市市安島1丁目3番18号  
TEL059-353-8100

### ■ 交通

近鉄四日市駅より徒歩5分。JR四日市駅より徒歩15分。  
※会場には駐車場がございませんので公共交通機関を  
ご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ

未来へつなぐ日本のこころ

# 皇學館大学

<http://www.kogakkan-u.ac.jp>

## 皇學館大学学生支援部教職支援担当 教員免許状更新講習係

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL:0596-22-6049 FAX:0596-21-0541  
E-mail [kyosyoku@kogakkan-u.ac.jp](mailto:kyosyoku@kogakkan-u.ac.jp)

平成29年1月 印刷